

明石市ひなんサポーター研修の追加開催について

1 趣 旨

元日に発生した能登半島を震源とする地震など、近年、全国各地で災害が多発し、近い将来には南海トラフ地震の発生も予想されています。災害時には自分や家族の身を自分たちで守る「自助」とともに、一人で避難することが難しい方（要配慮者）への声かけ・避難誘導など、隣近所・地域コミュニティによる「共助」の助け合いが重要になります。

それを踏まえ、1月27日に開催した第1回ひなんサポーター研修におきましては、当初の定員を上回る約120名の方にご参加いただきましたが、会場の関係で、研修に参加できなかった方も一定数おられました。そのような方々を対象とし、研修の追加開催をいたします。

2 日 時

2024年（令和6年）3月20日（水・祝）13時30分～16時

3 会 場

明石市民会館 第1・2会議室（明石市中崎1丁目3-1）

4 受講対象

中学生以上 定員40名程度

参加費無料、当日参加者にはサポーターグッズをお渡しします。

5 内 容

地域共助の重要性を感じ、ひなんサポーターとなっただけできるよう、1月27日の研修と同じく、明石市における南海トラフ巨大地震の被害想定や、災害時に支援が必要な人などを知る講演、災害時の障害者支援を体験し意見交換する演習などを予定しています。

6 講 師

演 習 兵庫県社会福祉士会

助 言 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 阪本 真由美 教授

※阪本教授には、最後に研修の振り返りと講評をお願いしています。

7 その他

次年度以降も、本研修を継続的に実施していく予定です。

災害時にみんなで助かるために



ひなんサポーターになろう！

(明石市ひなんサポーター研修)

ひなんサポーターとは？

災害が発生し自分・家族の安全が確保できたとき、可能な範囲で、近隣の高齢者・障害者に声をかけて一緒に避難したり、避難所でのお手伝い等に協力してくれる人を明石市では「ひなんサポーター」と呼んでいます。

日時

2024年

3/20 (水祝)

13:30~16:00

受付は13:00~

定員40名
参加無料



自治会・町内会やまち協
で防災を担当しています

防災について
勉強してみよう

学生が出来ることって
何だろう？

場所

明石市民会館 第1・2会議室
(明石市中崎1丁目3-1)

中学生以上の方どなたでも参加可

参加者にはサポーター
グッズを配布！



内容

- ① 明石市で想定される災害 知っていますか？
- ② 災害で支援が必要な人ってどんな人？
- ③ 障害体験をして考えよう！災害支援のポイント など



講師

演習 兵庫県社会福祉士会

助言 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授 阪本 真由美 氏

問い合わせ

明石市福祉局福祉政策室 福祉総務課

TEL 078-918-5025 FAX 078-918-5106

メール hukushi@city.akashi.lg.jp

★申込方法★

参加申込票を
FAX・メール等で送信

Webでの申込は
QRコードから ⇒



明石市ひなんサポーター研修 参加申込票
(参加者1人につき1枚)

3月20日(水祝)開催 13:30~16:00

FAX : 078-918-5106

E-mail: hukushi@city.akashi.lg.jp

【申込日】 令和 年 月 日

申込者	フリガナ 氏 名	
	住 所	〒 -
	連 絡 先	電話番号：
		e-mail：
	年 齢	歳
備 考	受講にあたり必要な配慮があればご記入ください。	

(定員を超え、受講できない場合にのみ連絡します。連絡先は漏れのないように記入してください)

<申込み・問い合わせ先> 明石市福祉総務課 TEL:078-918-5025